

2020

山梨ハイスクールガイド

わたしたちの進路



目次

第1部 中学生のための進路案内

■このガイドを読まれる方へ

I 先輩たちの進路について…………… 2

II 就職について…………… 3

■自分に適した職業を選ぶにはどうしたらよいか

III 進学にあたって…………… 4

■中学校卒業後に進学できる学校

■高等学校の概要

■高等学校の学科について

1 普通科…………… 5

2 職業に関する学科…………… 6

3 専門教育学科…………… 17

4 総合学科…………… 20

5 定時制・通信制課程…………… 21

(参考) 専修・各種学校…………… 22

IV 県立高等学校の入学者選抜制度

■入学者選抜の主な特徴…………… 24

■各募集の概要…………… 24

■令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について 25

参考資料

○公立高等学校の授業料等…………… 30

○奨学金制度…………… 30

○県立学校のホームページについて…………… 31

○高等学校配置図…………… 32

○各高等学校の部活動…………… 33

○令和2年度山梨県公立高等学校 学校説明会等の実施予定 39

第2部 各高等学校案内（公立の部）

[県立高校]

北杜高等学校 [全]普総…………… 41

韮崎高等学校 [全]普文・[定]普(単)…………… 43

韮崎工業高等学校 [全]工…………… 45

甲府第一高等学校 [全]普探…………… 47

甲府西高等学校 [全]普(単)…………… 49

甲府南高等学校 [全]普理…………… 51

甲府東高等学校 [全]普…………… 53

甲府工業高等学校 [全]工・[定]工(単)…………… 55

甲府城西高等学校 [全]総…………… 57

甲府昭和高等学校 [全]普…………… 59

農林高等学校 [全]農…………… 61

巨摩高等学校 [全]普・[定]普(単)…………… 63

白根高等学校 [全]普…………… 65

青洲高等学校 [全]普工商…………… 67

増穂商業高等学校 [全]商…………… 69

市川高等学校 [全]普英…………… 71

峡南高等学校 [全]工…………… 73

身延高等学校 [全]総…………… 75

笛吹高等学校 [全]普農総…………… 77

日川高等学校 [全]普(単)…………… 79

山梨高等学校 [全]普・[定]普(単)…………… 81

塩山高等学校 [全]普商…………… 83

都留高等学校 [全]普(単)・[定]普(単)…………… 85

上野原高等学校 [全]総…………… 87

都留興譲館高等学校 [全]普工英理…………… 89

吉田高等学校 [全]普理…………… 91

富士北稜高等学校 [全]総…………… 93

富士河口湖高等学校 [全]普…………… 95

中央高等学校 [定]普商(単)・[通]普看(単)…………… 97

ひばりが丘高等学校 [定]普商(単)…………… 99

[市立高校]

甲府市立甲府商業高等学校 [全]商…………… 101

北杜市立甲陵高等学校 [全]普(単)…………… 103

[全]は全日制の課程、[定]は定時制の課程、[通]は通信制の課程を示す。

(単)は単位制を示す。

普は普通科、農は農業に関する学科、工は工業に関する学科、商は商業に関する学科、看は衛生看護に関する学科、理は理数科、英は英語科、文は文理科、英理は英語理数科、探は探究科、総は総合学科（単位制）を示す。

第3部 各高等学校案内（私立の部）一覧…………… 105

第1部 中学生のための進路案内

■このガイドを読まれる方へ

みなさんは、今、中学校卒業後の進路を真剣に考えていると思います。

小学校を卒業するときには、中学校に進学することが決まっていました。しかし、中学校卒業後の進路は、だれかが決めてくれるわけではありません。自分で選ばなければならないのです。高等学校などへ進学するのか、あるいは就職するのかといった、生まれて初めての大きな進路の選択です。いろいろ戸惑うこともあると思います。しかし、みなさんが、真剣に自分の進路を考えるならば、きっと自分にふさわしい選択ができると思います。

では、進路を選択するという事は、どんなことでしょうか。単にどこの学校へ入るとか、どこに就職するのかといったことを決めることではありません。自分の「生き方」を考えるということです。それは、「自分はこんな人生を送りたい、こんな仕事をしたい、こんな家庭を築きたい、こういうふうな社会のために役立ちたい、だからこの進路に進もう。」などと考えることではないでしょうか。

それを考える上で、みなさんのご家族や、身近な人たちからアドバイスをいただくのも大いに参考になると思います。また、本などで先人の「生き方」を知るのもいいと

思います。

山梨県では、県立高校の入学選抜は、全県一学区制になっていて、住んでいる地域にかかわらず県内全ての高等学校を受検することができます。みなさんの進路選択の幅は非常に広がっています。

多様な高等学校の中から進学先を選択することは、難しいかもしれません。しかし、高等学校の種類がたくさんあるということは、自分の「生き方」を考える上で、より適した学校が見つかるようになっているということでもあります。

この「山梨ハイスクールガイド」には、みなさんに知っておいてほしいことが簡潔に書いてあります。各高等学校の内容や入学検査についても、要点が分かるようになっています。進路を選択する上で大いに活用してください。また、もっと詳しい内容を知りたい場合には、高校説明会、各高校が作っている学校案内、体験入学、卒業生の話なども参考にしてください。

みなさんが、ご家族や先生方のアドバイスを受けながら、自分の意志で、自分の個性や適性に応じた、よりよい選択をされることを願っています。

I 先輩たちの進路について

先輩たちの中学卒業後の進路について、その移り変わりをみてみましょう。

〈中学校〉年度別進路別状況の推移（国立・公立・私立）

区分	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月
卒業生総数	8,748	8,325	8,401	8,087	8,024	7,768	7,548
進学者（高等学校）	8,615	8,167	8,264	7,970	7,894	7,664	7,459
就職者	47	65	70	52	34	35	17
就職進学者	1	—	—	3	—	1	—
専修学校等入学者	5	13	20	11	20	8	15
無業者	78	67	42	53	73	56	53
その他	3	13	5	1	3	5	4
高校進学率（%）	98.5	98.1	98.4	98.6	98.4	98.7	98.8

（注）進学率は現役進学率であり、就職進学者を含みます。

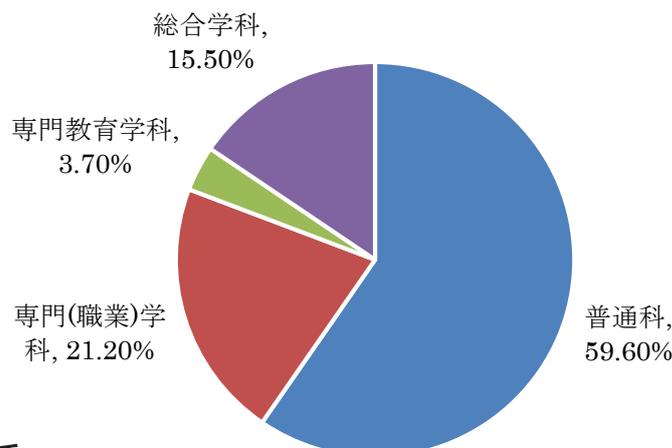
〈高等学校〉年度別進路別状況の推移（公立・私立、全日制・定時制）

区分	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月
卒業生総数	9,026	8,691	8,549	8,595	8,229	8,341	8,005
進学者（大学、短大等）	5,185	4,942	4,877	4,844	4,685	4,770	4,448
就職者	1,361	1,444	1,476	1,468	1,372	1,387	1,327
就職進学者	2	1	4	—	—	—	—
専修学校等入学者	2,148	2,073	2,003	2,084	2,003	1,956	2,014
一時的な仕事に就いた者	80	73	53	30	38	26	35
無業者	249	158	140	169	125	202	180
その他	1	1	—	—	6	—	1
大学進学率（%）	57.4	56.9	57.0	56.4	56.9	57.2	55.6

（注）進学率は4年生大学等や短大への現役進学率であり、就職進学者を含みます。

令和2年3月卒業の先輩達

- ◆県内公立高校の普通科、専門（職業）学科、専門教育学科（理数科、文理科、探究科等）及び総合学科進学者の割合
[全日制のみ]



Ⅱ 就職について

■自分に適した職業を選ぶにはどうしたらよいか

1 自分をよく知る

- ア 学業成績、学級活動、生徒会活動、部活動などを通して自分を知る。
- イ 職業適性検査、性格検査、教育相談（個別面談）などを通して自分の適性を知る。
- ウ 健康状態や運動能力の面から自分を知る。
- エ 家族の意見や考え方、家庭の状況などから自分の立場をしっかりと理解する。

2 選ぼうとする職業をよく理解する

- ア その職業に就くには、どんな適性、どんな勉強・訓練が必要か。
- イ その職場の労働条件はどうか。（休日、勤務時間、衛生、危険有害作業など）
- ウ 初任給はどのくらいで、昇給はどうか。
- エ その職場の作業内容はどうか。（設備、作業工程など）
- オ その職業の将来性はどうか。（生涯の職業としてどうか）

以上のようなさまざまな観点から自分を知り、職業を研究して、総合的に考え、自分に向く方向、向かない方向を見定めて、最も適した職業を選ぶことが大切です。

◆中学校卒業者の就職について（就職進学者、専修学校進学者で就職者を含む。）

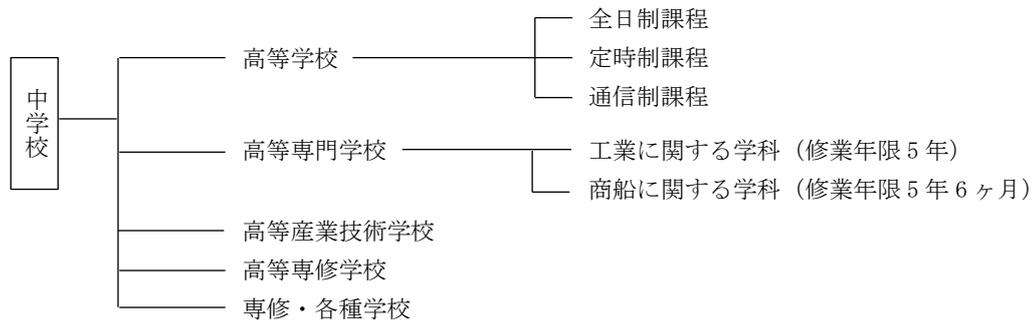
（単位：人）

地域 性別	県内							県外							計
	計	男	女	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	左記 以外	計	男	女	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	左記 以外	
平成25年3月	41	32	9	3	14	23	1	7	5	2	—	1	3	3	48
平成26年3月	49	37	12	3	21	21	4	16	15	1	—	4	10	2	65
平成27年3月	63	51	12	1	36	22	4	7	6	1	2	1	4	—	70
平成28年3月	47	31	16	1	15	24	7	8	7	1	2	2	4	—	55
平成29年3月	26	20	6	—	10	13	3	8	7	1	—	6	2	—	34
平成30年3月	22	17	5	1	12	9	—	1	1	—	—	1	—	—	23
平成31年3月	12	6	6	—	4	8	—	3	1	2	—	—	—	3	15

- （注）第1次産業 農業・林業・漁業など
第2次産業 製造・建設・鉱業など
第3次産業 商業・運輸・サービス業など

Ⅲ 進学にあたって

■ 中学校卒業後に進学できる学校



■ 高等学校の概要

1 高等学校で学ぶことから

- ・ 目的…中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育及び専門教育を施す。
- ・ 学習科目…必修科目…すべての生徒が共通して履修する。
…選択科目…生徒が個人の進路や興味関心に応じて選択して履修する。
- ・ 総合的な探究の時間…生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理・分析をする学習活動を行う。
- ・ 特別活動…「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」
〈目標〉 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
自主的、実践的な態度を育てる。
自己を生かす能力を養う。

2 山梨県の高等学校の課程及び学科

- ・ 課程による区分…全日制課程、定時制課程、通信制課程
- ・ 学年の有無による区分…学年制、単位制
- ・ 学習内容による区分…普通科、専門学科、総合学科

(注 1) 専門学科 (専門教育学科)
理数科、文理科、英語理数科
探究科、(英語科)

(注 2) 専門学科 (職業に関する学科)
農業科、工業科、商業科、
美術デザイン科、音楽科

(注 3) 甲府西高等学校、青洲高等学校、
日川高等学校、都留高等学校、
甲陵高等学校、山梨英和高等学校、
日本航空高等学校

(注 4) 甲府城西高等学校、北杜高等学校、
富士北稜高等学校、笛吹高等学校、
上野原高等学校、身延高等学校

(注 5) 青洲高等学校

(注 6) 中央高等学校、駿台甲府高等学校
日本航空高等学校、自然学園高等学校

(注 7) 中央高等学校、日本航空高等学校

これらを表にまとめると次のようになります

	全日制課程	定時制課程	通信制課程
学年制	普通科 専門学科 (注 1)(注 2)	なし	なし
単位制	普通科(注 3) 総合学科(注 4) 専門学科(注 5)	普通科 専門学科	普通科(注 6) 専門学科(注 7)

3 高等学校と中学校の違い

①学習内容の高度化

高校では中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、より分化、高度化した教科・科目を学習します。

②卒業認定

各高校で定めている教科・科目を履修し、必要な単位数を修得するとともに、特別活動、総合的な探究の時間の学習活動の成果がその目標からみて満足と認められることが必要です。

◇履修: 各教科・科目の授業を受けること。履修しなければならない教科・科目が指定されています。

◇修得: 履修した結果、満足すべき成果を上げたことと認定されること。

◇単位: 50 分授業を 35 回受けたときの学習量を 1 単位の標準とします。

・ 学校外における学修等の単位認定

海外留学、学校間連携、技能審査の成果等が、一定の要件のもとで、卒業に必要な単位として認められます。

4 学年制と単位制の違い

- ①学年制…学年ごとに課程の修了の認定が行われ、1年ごとに進級の可否について判定が行われる。
- ②単位制…学年区分がなく、決められた単位を修得すれば卒業が認められ、自分の学習計画に基づいて、興味・関心に
応じた科目を選択し学習できるなどの特色がある。

5 普通科と専門学科の学習内容の違い

①普通科

普通教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、家庭、情報、外国語）を中心に学習する。

②専門学科

専門科目を25単位以上履修し、実験や実習を中心に専門性を高める。本県には、理数科、文理科などの専門教育学科と農業科、工業科、商業科などの職業に関する学科がある。

■高等学校の学科について

※各高等学校に設置されている学科の詳細は「第2部 各高等学校案内」に記載されています。

1 普通科

(1) 普通科の特色

- ・普通教育…一般教養を高め、将来の進路に必要な基礎的な能力を育成します。
- ・学習内容…普通教科・科目が中心。職業科目を開設する学校もあります。
- ・類型・コース…将来の進路に合わせて、多様な科目を選択学習できます。
- ・習熟度編成…数学・英語などで習熟度別授業クラスを編成する学校もあります。

○ 普通科を置く学校

県立	北杜、韮崎、甲府第一、甲府西（単位制）、甲府南、甲府東、甲府昭和、巨摩、白根、市川、青洲、笛吹、日川（単位制）、山梨、塩山、都留（単位制）、都留興譲館、吉田、富士河口湖 [定時制]（単位制）：韮崎、巨摩、山梨、都留、中央、ひばりが丘
公立	甲陵（単位制）
私立	山梨英和（単位制）、身延山、甲斐清和、駿台甲府、山梨学院、東海大学付属甲府 日本航空（単位制）、日大明誠、帝京第三、富士学苑、自然学園

○ 普通教育に関する各教科・科目

教科	科 目
国 語	国語総合、国語表現、現代文A、現代文B、古典A、古典B
地理歴史	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B
公 民	現代社会、倫理、政治・経済
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学活用
理 科	科学と人間生活、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学 理科課題研究
保健体育	体育、保健
芸 術	音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、美術Ⅰ、美術Ⅱ、美術Ⅲ、工芸Ⅰ、工芸Ⅱ、工芸Ⅲ、書道Ⅰ、書道Ⅱ 書道Ⅲ
外国語	コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ、英語会話
家 庭	家庭基礎、家庭総合、生活デザイン
情 報	社会と情報、情報の科学

○ 普通科の類型

- 1 学年……多くは、共通の科目を学習します。
 - 2・3 学年……興味・関心や進路希望等に合わせて、文系、理系などに分かれて学習します。選択科目の学習が多くなります。
-
- 文系………国語、地理歴史、公民、芸術、英語などを多く学習し、将来、文学部・法学部・経済学部など文系系大学、公務員等を希望する人に向く類型です。
 - 理系………数学、理科、英語などを多く学習し、将来、工学部・理学部・医学部・農学部など理系系大学を希望する人に向く類型です。

○ 卒業後の進路（平成 31 年 3 月卒業生）

- ・進学者（全日・公立）…4 年制大学 47.5% 短大 5.3% 専修・各種等 21.6% その他 7.0%
- ・就職者（全日・公立）…18.6%

(2) 普通科に関するコース

- ・生徒の多様な実態（能力・適性、興味・関心等）に対応して、普通科に特色あるコースを設けています。
- ・1 学年から一般的な教科・科目のほかに、コースに関連した科目をより多く深く学習します。

○ コースを置く学校

学校名	コース名
北杜高等学校	理 数
甲府東高等学校	理 数
巨摩高等学校	理数創造
白根高等学校	文 理
山梨高等学校	英理総合
塩山高等学校	英 数

2 職業に関する学科

人にはそれぞれ個性があります。自分の興味・関心を育てる勉強をして成長していくことは、力強く生活するために大切なことです。

職業に関する学科には、さまざまな科・系列が設けられ、一人ひとりの適性に応じた教育を行い、個人の特性を生かして将来、社会の発展に寄与する人間の育成をねらいとしています。

○ 充実した教育

- ・一人ひとりの興味や関心を育て、それぞれの特性を生かす教育をします。
- ・普通高等教育を行うとともに、さらに専門的な知識と技術を身につけさせます。
- ・豊かな人間づくりを目指します。

(1) 農業科

—緑と太陽のもとで学び、食と環境を考える農業科—

- 国民の食糧生産と国土の緑化保全及び、バイオテクノロジーの活用、ヒューマンサービスの分野は、平和にして豊かな人間生活を営む基本です。国や県では農業系高等学校に学んだ人たちに大きな期待を寄せています。

本県の農業科は、峡中及び峡東の 2 地域に設置され、将来、本県農業の発展に貢献したい人たちや農業に関する各分野の技術者を目指す人たちが、地域農業の特性や学科の特色に基づいて必要な知識・技術の習得に励んでいます。

- 教育内容
 - 普通科目：国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・英語・家庭
 - 専門科目：各学科の専門科目を見てください。

専門科目の学習は、実験・実習を中心として、基礎的、基本的な事項を体験的・体系的に学びます。

- 農業科を置く学校

県立	農林高等学校	システム園芸科・森林科学科・環境土木科・造園緑地科・食品科学科
	笛吹高等学校	食品化学科・果樹園芸科

- 農業科以外で農業科目が勉強できる学校（総合学科）

県立	北杜高等学校	生物資源系列・環境工学系列
	笛吹高等学校	環境・緑地系列

- 学校農業クラブ

農業クラブは、全国の農業系高校で組織される農業学習を主体的に進めるための生徒の活動組織です。

授業で農業分野の様々な課題解決に取り組むプロジェクト学習の実施と、その成果をまとめ発表するプロジェクト発表会、身近な課題や将来の抱負などを発表する意見発表会、チームで平板測量を行う平板測量競技会、農業の各分野に関する知識や技術の成果を競う農業鑑定競技会、収穫の喜びをともに分かち合い地域と協働する収穫祭やフェスタなど、農業系の特色ある学習活動を実施しています。また毎年、関東・全国大会が開催され、全国のクラブ員との交流や、優れた学習活動の成果を発表し、全国の頂点を目指し競い合っています。



農業鑑定競技会の様子

- 専門学校山梨県立農業大学校との教育交流

農業大学校と農業系高等学校では、高校生の視野を広げ進路に対する意識や学ぶ意欲を高める教育交流を行っています。高校生が農業大学校の授業を学生とともに行うカリキュラム連携やプロジェクト研究の相互交流、技術者等による高校での実践的指導などを行っています。



農業大学校講師による芽接技術指導

- 卒業生の進路

- ・就職…各学科に関連した会社・官公庁に就職しています。土木建設・建築業、造園業、食品製造・流通業等の中堅技術者として企業の要請があります。県内が約95%で、多くの人が自宅から通勤できる職場に就職しています。
- ・進学…県内外の国公立大学・短大・各種学校に進学しています。農業高校からの推薦入学を受入れている大学があります。
- ・自営…卒業後、直ちに果樹・野菜・草花等の専業経営に入る者と、さらに専門学校山梨県立農業大学校や農業関係大学等を卒業してから自営する者に分かれます。

○ 各学科の概要

【果樹園芸科】

果樹栽培や園芸の知識と技術を習得し、峡東地域の基幹産業である果樹園芸を担う人材を育成します。また実践的に学んだ知識、技術に思考判断を重ね他者と関わりながら課題解決に向けた手法を習得し、職業人社会人としての資質や能力の向上を図ります。

□ 専門科目

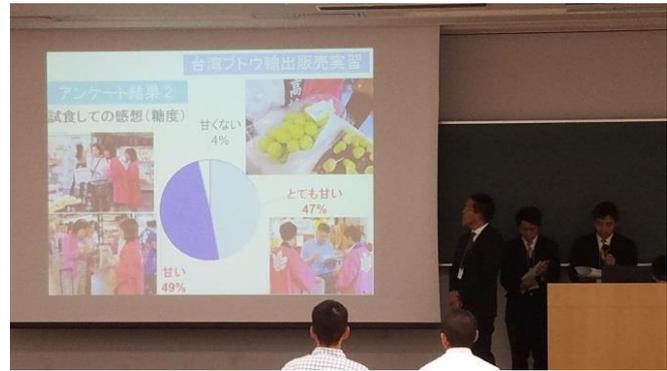
農業と環境・農業情報処理・課題研究・グリーンライフ・果樹・野菜・草花・植物バイオテクノロジー・生物活用・農業経済



シャインマスカット台湾輸出販売実習(台北)



異校種間連携授業(笛吹市一宮中学校)



GAP シンポジウムでの発表 (東京農業大)

【システム園芸科】

草花・野菜・果樹を中心に、園芸植物や施設園芸についての基礎・基本的な栽培技術を習得すると共に、先端技術である植物バイオテクノロジーや情報技術を体系的に取り入れ、園芸技術者として、時代の変化に対応できる幅広い資質を身につけていきます。またキャリア教育の推進も図ります。

□ 専門科目

農業と環境・農業情報処理・総合実習・課題研究・植物バイオテクノロジー・農業経営・果樹・野菜・草花・生物活用・グリーンライフ・インターンシップ・園芸デザイン・地域と農業・アグリビジネス



園児との交流

【食品化学科】

食品の加工、栄養分析、微生物利用、流通などの知識と技術を習得し、食品産業を担う人材を育成します。

□ 専門科目

農業と環境・農業情報処理・課題研究・食品製造・食品化学・微生物利用・ワイン製造・食品科学概論・製菓製パン・栄養化学・発酵化学



食品製造実習

【食品科学科】

将来、食品産業に貢献できる人材を育成するため、食品の加工や成分分析、微生物利用や食品衛生の技術に関する学習を実験・実習をとおして行います。

□ 専門科目

農業と環境・農業情報処理・総合実習・課題研究・食品製造・食品化学・微生物利用・インターンシップ・食品科学・食品衛生・食品流通

【森林科学科】

森林の育成と保護、木材をはじめとする様々な森林資源の活用方法、樹木の生態や森林を取り巻く地域環境の保全についての知識と技術を、実体験をとおして学ぶことにより、それらの業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・総合実習・測量・森林科学・ウッドイークラフト・森林経営・課題研究・農業情報処理・森林土木・インターンシップ・林産物利用



高性能林業機械研修

【環境土木科】

地球にやさしい環境づくりを目指し、農業生産基盤や生活環境の改善など、自然と調和した新しい土木技術を探究し、設計・施工・測量を主体的に学習することにより、環境土木技術者として必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・農業情報処理・総合実習・課題研究・環境土木計画・測量・農業土木設計・農業土木施工・インターンシップ・水循環・応用測量・応用設計・材料施工



平板測量実習

【造園緑地科】

造園及び環境緑化の計画・設計・施工・管理や自然環境の保全・保護・調査などに関する知識や技術を習得させ、環境づくりのエキスパートとして必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・総合実習・造園計画・測量・造園技術・課題研究・農業情報処理・樹木治療学・インターンシップ・ガーデニング基礎・環境緑化材料・剪定技術



資格取得／小型車両系建設機械・3t未満（整地）

○ 各種の職業資格取得のための機会と援助が準備されています

毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者、クレーン玉掛け技能講習、車輛系建設機械運転技能者、日本農業技術検定、測量士補、ガス溶接技能者、アーク溶接技能者、トレース技能検定、建設機械技能者、高所作業車運転特別教育、大型特殊自動車運転免許、土木施工管理技術検定、造園技能士検定、造園施工管理技術検定、情報処理技能検定、簿記検定、計算技術検定、園芸装飾技能検定、フラワー装飾技能検定 等

(2) 工業科

—国づくり人づくりはものづくりから、明るい未来を開く工業教育—

- 工業科では、私たちの生活をより豊かにし、明るい未来を拓くための専門技術を身につけます。
- 本県の工業科には、各地域の産業の特色を生かした学科、系列、コースが設けられています。工業科の特徴は、工業技術に関する基礎的・基本的な理論を学ぶだけでなく、実習や実験などの体験的な学習を通してわかりやすく楽しく学ぶところにあります。近年では女子の入学者も多く、卒業後は技術者として各方面で活躍しています。

○ 工業科を置く学校

県立	葦崎工業高等学校	電子機械科、電気科、情報技術科、環境化学科、システム工学科、制御工学科
	甲府工業高等学校	機械科、電気科、電子科、建築科、土木科
	〃 定時制	機械科、電気科、建築科
	峡南高等学校※	電子機械科、土木システム科、クラフト科※
	青洲高等学校	機械工学科、土木工学科
	都留興譲館高等学校	機械工学科、電子工学科、制御工学科、環境工学科

※峡南高等学校は平成 31 年度入学選抜よりクラフト科募集停止、令和 2 年度入学選抜より電子機械科、土木システム科募集停止

○ 工業科以外で工業科目が勉強できる学校（総合学科）

県立	甲府城西高等学校	メカトロニクス系列、エレクトロニクス系列
	富士北稜高等学校	電気情報系列、機械テクノロジー系列、建築デザイン系列

○ 教育内容

各学科とも、普通科目と各学科の専門科目を学習します。

- ・普通科目：国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・英語・家庭
- ・各学科共通に学習する専門科目：工業技術基礎・課題研究

○ 各学科の概要

【機械系（機械科、電子機械科、機械工学科）】

機械の設計の基礎となる理論や製図、各種工作機械による製作、加工や溶接、組立、検査、電子技術、生産システム等に関する基礎的、基本的知識と技術を学びます。

① 専門科目（学科独自の科目）

機械工作、機械設計、原動機、機械製図、電子機械、電子機械応用、自動車工学 など

② 卒業後の進路

各種製造会社、官公庁、サービス関連企業、電気・電子機器製造会社、大学進学 など

③ 取得できる資格

溶接技能者、ボイラー技士、車両系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、危険物取扱者、電気工事士、情報処理技術者、技能士（機械加工・機械検査・一般熱処理）、QC検定 など

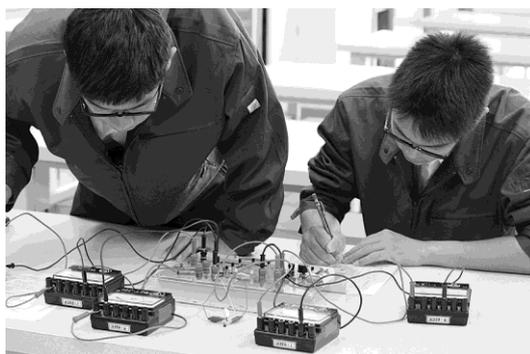


アーク溶接実習

【電気系（電気科、電子科、電子工学科）】

電気、電子に関する基礎となる理論や計測技術を学習し、発電所や送配電、電動機、変圧器、無線機器、電話、ラジオ、テレビやコンピュータなどの基礎的な知識と技術を学びます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
電気基礎、電気機器、電力技術、電子技術、電子回路、通信技術、電子計測制御、電子情報技術 など
- ② 卒業後の進路
電気・電子機器製造会社、電力会社、ネットワーク関係の企業、官公庁、電気工事業、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
電気主任技術者、電気工事士、情報処理技術者、電気通信工事担任者、技能士（電子機器組立、電気機器組立）、陸上特殊無線技士、QC検定 など



電子計測実習

【情報系（情報技術科）】

電子に関する基礎の学習やコンピュータの基礎、利用技術、プログラム設計、制御回路などハードウェアとソフトウェアをバランスよく学びます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、電子技術 など
- ② 卒業後の進路
電子機器製造会社、電力会社、情報サービス関係・ネットワーク関係の企業、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
ITパスポート、陸上特殊無線技士、電気通信工事担任者、デジタル技能検定、パソコン検定、ワープロ検定、QC検定、ウェブデザイン技能検定など



コンピュータ実習

【建築系（建築科）】

普通住宅や高層建築（ビルディング）など各種建築物を計画し、設計するために必要な理論及び構造、工法、材料などについての基礎的な知識と技術を学びます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
建築構造、建築施工、建築構造設計、建築計画、建築法規 など
- ② 卒業後の進路
建設会社、建築設計事務所、官公庁、公団、内装企画施工会社、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
建築士、建築施工管理技術者、土地家屋調査士、消防設備士、測量士補、レタリング技能検定、技能士（建築大工）、QC検定など



木材加工実習

【クラフト系（クラフト科）】 ※峡南高校クラフト科は平成31年度入学者選抜より募集停止

金属と木材を中心に材料加工技術を学び、『ものづくり』を通して豊かな心をはぐくみます。デザインの企画から製品・作品完成までを体験し、宝飾など山梨の地場産業を支える人材を育てます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
宝飾概論、材料加工、デザイン技術、デザイン史 など
- ② 卒業後の進路
金属木材加工会社、宝飾加工会社、木工・和紙産業、専門学校 など
- ③ 取得できる資格
技能士（貴金属装身具）、色彩・レタリング・CAD・トレース・ワープロ実務検定、QC検定 など

【土木系（土木科、土木システム科、土木工学科）】

道路、鉄道、河川、橋梁、ダム、トンネル、上下水道などの建設業務に関する基礎的な知識や技術を学ぶとともに、快適な生活環境づくりを幅広く学びます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
測量、土木施工、土木基礎力学、土木構造設計、社会基盤工学、土木法規など
- ② 卒業後の進路
建設会社、官公庁、公団、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
測量士、測量士補、土木施工管理技士、車輛系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、下水道管理技術者、火薬類取扱保安責任者、QC検定 など



測量実習

【化学系（環境化学科）】

日常生活に使われている化学工業製品の量は膨大です。化学工業は、現代の生活や産業を支える素材をつくり出しています。その化学工業についての基礎的な知識と技術を学ぶとともに、環境の保全や快適な環境づくりなど環境化学に関する基礎的・基本的な知識と技術を学びます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
工業化学、化学工学、地球環境化学 など
- ② 卒業後の進路
石油関連企業、医薬品メーカー、化学・食品会社、公害防止関係企業、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者、公害防止管理者、火薬類取扱保安責任者、消防設備士、酸素欠乏危険作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、有機溶剤作業主任者、QC検定 など



走査電子顕微鏡実習

【システム工学科】

ものづくりのための機械技術・電気技術・自動車の基本的な技能を広く体得し、同時に新エネルギー技術や環境に配慮した技術など、工業のいろいろな分野の先進技術に触れ、新しい技術を身につける教育を展開します。複雑化した工業技術に、柔軟に対応した人材教育を目指します。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
製図、原動機、自動車整備、自動車工学、生産システム技術 など
- ② 卒業後の進路
自動車製造メーカー、自動車整備工場、新エネルギー開発関連企業、薬品製造会社、金属材料加工関連会社、貴金属製造会社、電子機器製造メーカー など
- ③ 取得できる資格
危険物取扱者、ボイラー技士、アーク溶接技能講習、ガス溶接技能講習、車輛系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、技能士（機械加工、電気機器組立）、QC検定 など

【制御工学科】

ものづくりの基礎的・基本的な技術分野を広く体得し、自動化システムやメカトロニクス技術について学び、その応用であるロボット制御技術等の学習を行います。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
電気基礎、工業技術基礎、電子回路、電子計測制御、機械工作、機械設計、電子機械 など
- ② 卒業後の主な進路
各種製造会社、電気・電子機器製造会社、ネットワーク関連企業、電力関係会社、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
技能士（電子機器組立、電気機器組立、機械加工、機械検査、一般熱処理）、メカトロニクス技術認定試験、家庭用電子機器修理技術者、QC検定 など

【環境工学科】

環境に関する様々な学習や地域と連携した環境学習を通して、エネルギー、材料、分析、建築等に関する幅広い知識や技術を体得し、環境保全に関する知識や態度を身につけたエンジニアの育成を行います。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
環境工学基礎、工業化学、地球環境化学、測量、土木施工
- ② 卒業後の主な進路
公害防止関係企業、建設会社、化学系会社、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
危険物取扱者、有機溶剤作業主任者、火薬類取扱保安責任者、土木施工管理技士、測量士補、各種建設機械運転技能士、QC検定 など

(3) 商業科

商業科では、普通科目のほかに、商業（ビジネス）活動全般、及び販売を中心とした流通活動から、卸・小売業、金融保険業、運輸・通信業、サービス業、製造業、官公庁など多くの産業分野で必要とされる事務や営業、財務会計についての専門的知識や技術を学習します。社会に出てから必要とされる様々な資質・能力を、実践的な学習を通して身に付けることで、視野の広い豊かで調和の取れた人づくりをねらいとしています。また、地域や企業との連携など、学校外での実務に即した学習活動が活発に行われており、毎年開催される生徒商業研究発表大会では、このような学習活動の発表が行われています。

この他、ビジネスに関するさまざまな外部コンテスト（株式の模擬取引、ビジネスアイデア・フードグランプリなど）への参加を通し、ビジネスや経済を深く学ぶための取り組みも活発になっています。



販売実習



開発商品



生徒商業研究発表大会

○ 商業科目が勉強できる学校

	商業科がある学校	商業系列・コースがある学校
県立	増穂商業高校 商業科、情報処理科	北杜高校 総合学科・総合情報ビジネス系列 甲府城西高校 総合学科・ビジネス会計系列、情報管理系列 笛吹高校 総合学科・情報・観光系列 富士北稜高校 総合学科・総合ビジネス系列
	青洲高校 ビジネス探究科、ビジネス情報科	
	塩山高校 商業科、情報ビジネス科	
	中央高校（定時制） 情報経理科	
	ひばりが丘高校（定時制） 情報経理科	
市立	甲府商業高校 商業科、情報処理科	
私立		甲斐清和高校 普通科総合コース・商業クラス



授業風景



部活動風景



○ 教育内容

商業科では、普通科目を2、商業に関する専門科目を1の割合で学習します。

分野	科目	基礎的科目	総合的科目
マーケティング分野	マーケティング	ビジネス基礎	課題研究 総合実践 ビジネス実務
	商品開発		
	広告と販売促進		
ビジネス経済分野	ビジネス経済		
	ビジネス経済応用		
	経済活動と法簿記		
会計分野	財務会計Ⅰ		
	財務会計Ⅱ		
	原価計算		
	管理会計		
ビジネス情報分野	情報処理		
	ビジネス情報		
	電子商取引		
	プログラミング		
	ビジネス情報管理		

○ 進路

・進学

令和元年度3月商業科卒業生の進学した主な学部又は学科は、大学では経営学部、経済学部、商学部、経営情報学部など、短大では家政、看護、保育、栄養、語学、商経・情報などの学科です。

大学の経営学部、経済学部等への進学については、現在、多くの国公立・私立大学で、受験科目の社会や数学の代わりに簿記などの商業科目で受験できる制度が設けられています。

また、推薦入学枠により、合格率は普通科高校生にひけをとらず、職業の資格取得は高い評価を得ています。

・就職

令和元年度3月商業科卒業生の主な就職先は、卸・小売業、金融保険業、サービス業、運輸・通信業、製造業などの各企業や官公庁における事務、販売、サービス、製造などさまざまな職種にわたっています。

○ 取得できる資格

全国商業高等学校協会や日本商工会議所などが行う各種技能検定試験

- ・ビジネス文書実務検定試験 ・英語検定試験 ・珠算・電卓実務検定試験 ・情報処理検定試験
- ・簿記実務検定試験 ・商業経済検定試験 ・会計実務検定試験 ・ビジネスコミュニケーション検定試験
- ・日商販売士検定試験 ・基本情報技術者試験 ・秘書技能検定 ・日商簿記検定試験 ・ITパスポート試験
- ・その他

○ 各学科の概要

【商業科】

商業や経済のしくみ及びビジネス活動について学習し、事務処理能力や情報機器などの利用技術を身につけ、産業の各分野にわたり活躍できる人を育てる商業の総合的学科です。

◇専門科目

ビジネス基礎・課題研究・総合実践・ビジネス実務・マーケティング・商品開発・広告と販売促進・ビジネス経済・ビジネス経済応用・経済活動と法・簿記・財務会計Ⅰ・財務会計Ⅱ・原価計算・管理会計・情報処理・ビジネス情報・電子商取引

【情報処理科】

コンピュータの利用方法や、OA化をはじめ産業社会における高度情報処理の進展にも対応できる知識と技術を学習し、企業や地域の情報化推進に活躍する情報処理のエキスパートを育てます。

◇専門科目

ビジネス基礎・課題研究・総合実践・ビジネス実務・マーケティング・商品開発・広告と販売促進・ビジネス経済・経済活動と法・簿記・財務会計Ⅰ・財務会計Ⅱ・原価計算・情報処理・ビジネス情報・電子商取引・プログラミング・ビジネス情報管理

【情報経理科】

情報処理に関する分野及び簿記会計に関する分野についての知識と技術を学習し、企業や地域のあらゆる場面で活躍する人を育てます。

◇専門科目

ビジネス基礎・課題研究・総合実践・ビジネス実務・マーケティング・広告と販売促進・ビジネス経済・経済活動と法・簿記・財務会計Ⅰ・原価計算・情報処理・ビジネス情報・プログラミング・電子商取引

【情報ビジネス科】

情報処理に関する基本的な知識と技術を習得し、ビジネス活動に必要な情報管理能力を養い、即戦力として活躍できる職業人を育てます。

◇専門科目

ビジネス基礎・課題研究・総合実践・マーケティング・ビジネス経済・ビジネス経済応用・経済活動と法・簿記・財務会計Ⅰ・原価計算・情報処理・ビジネス情報・プログラミング・ビジネス情報管理

(4) 衛生看護科

- 衛生看護科を置く学校

県立	中央高等学校（通信制）
----	-------------

中央高校の衛生看護科は、甲府看護専門学校の准看護学科に入学することが条件になります。看護に関わる専門科目等を甲府看護専門学校で2年間学びながら、普通教科の科目を3年間中央高校で学んで高等学校卒業の資格を取得します。

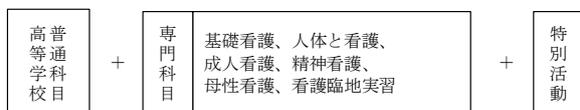
- 准看護学科の卒業年次に准看護師の受験資格が得られます。准看護師試験に合格し、さらに中央高校通信制を卒業すると看護専門学校（医療専門課程：2年間の学修で看護師国家試験受験資格が得られます。）への受験資格が得られます。なお、衛生看護科を卒業すれば、下図の高校普通科（総合学科・専門学科）と同様の進路も可能です。
- この道に進む人

看護の仕事は、人間愛と自己の英知を十分に発揮できる職業です。そのためには、医療技術に対する理解力・判断力、そして何よりも、看護に従事する職業人として誠意あるやさしい心の持ち主であることが必要です。

	1	2	3	4	5	6	7年
中学生	高校	総合学科		看護専門学校（医療専門課程）		B	看護短大専攻科 保健師・ 助産師学科 C
		普通科		看護短大		B	
		専門学科		看護大学		B・C	
	中央高等学校 通信制 （衛生看護科） + 甲府看護専門学校 准看護学科	A	看護専門学校（医療専門課程）		B	保健師・ 助産師 学科	C
准看護学校	A	病（医）院 勤 務		看護専門学校（医療専門課程）		B	

A = 准看護師試験（知事試験）
B = 看護師試験（国家試験）
C = 保健師試験又は助産師試験（国家試験）

教育内容



3 専門教育学科

(1) 理数科

自然科学の分野に強い興味や関心を持ち、数学や理科の学習を深めたい生徒を対象に、実験や実習の時間を多くとることによって、思考力や問題解決能力の育成に努めています。

日々の学習において、ものごとを科学的に考察したり論理的に説明したりする能力を高めるとともに、自然科学を研究するうえで重要な、課題発見力や解決能力を身に付けるような教育を行う専門教育学科です。

○ 理数科を置く学校

県立	甲府南高等学校 吉田高等学校
----	----------------



課題研究の実験

○ 教育内容

理数科では、理科や数学の学習が普通科より多くなっていますが、それは数学・理科の基本的事項をしっかり身に付けるとともに、実験・実習や演習及び課題研究によって、基礎知識の活用能力や、論理的な推論力、プレゼンテーション能力等を身につけるために充てられます。また、豊かな人間性を育むために幅広い教養を身に付けることも重視し、国語や地理歴史、公民及び英語といった文系の科目についても十分な単位数を設定して密度の濃い授業を展開しています。

○ 進路状況

在学生は、より高いレベルの学習環境を求め、志望大学に進学することを目標に日々努力を継続しています。卒業生の多くは4年制大学に進学し、医歯薬系学部や理・工系学部や、高い論理性の活かせる文系学部で学び、社会で活躍しています。

(2) 英語理数科

理科や数学に強い興味・関心を持ち、その学習に相応の能力・適正を持った生徒を対象に、理数科の科目履修を基軸とした実践的な英語力の育成を図ることにより、高い英語活用能力に加え科学的思考力を備えた人材の育成を目指します。

または、語学や国際社会・国際文化などに強い興味・関心を持ち、その学習に相応の能力・適正を持った生徒を対象に、理数科の科目履修を基軸とした論理的思考力を養うとともに、英語科の専門科目履修を加えることにより、高い英語活用能力を用いて国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。

○ 英語理数科を置く学校

県立	都留興譲館高等学校
----	-----------

○ 教育内容

科学的思考力や論理的思考力をつけるため、数学・理科の専門科目の基本的事項を全員が学びます。理系は、さらに数学・理科を深く学ぶことで科学的応用力を養うとともに、高い英語活用能力を育み、国際社会で活躍できる能力育成のための学習を行います。文系は、語学や国際社会・国際文化などについて深く学び、幅広く高い教養を身につけるとともに、数理の基本に裏付けされた科学的分析力と柔軟な思考力を育み、国際社会で活躍できる能力育成のための学習を行います。

○ 進路状況

文系、理系双方の進学希望に応じたカリキュラムを設定し、国公立、難関私立大学進学等、高度な進路状況に応えています。

(3) 英語科

英語や英語を主要なことばとする国々の文化等に強い関心や興味を持ち、意欲的に学習していく能力・適性をもった生徒を対象としています。英語を学ぶ時間を多くすることによって英語の基本的な力を身に付け、また外国の人々の生き方や考え方を理解し、将来それぞれの分野やグローバル化する世界で活躍できる能力を養うための教育を行う専門教育学科です。

○ 英語科を置く学校

県立	市川高等学校
----	--------



英語の授業風景

○ 教育内容

- ・普通科と比べ、英語の学習時間が多くなっています。
- ・基礎的な学習から始め、3年間で英語の聞く・話す・読む・書くことを総合的に学習します。
- ・普通科の生徒と同程度に数学、理科等を学習することもできます。
- ・高校生として望ましい調和のとれた教養を身に付けながら、個性をいかして将来国際社会で活躍できる基礎を築く内容になっています。

○ 進路状況

英語科は、将来大学の英語や英文学を専門とする学部に進学する人のみを対象にしたものではありません。その他の学部・学科に進んでも、それぞれの専門分野で英語を通して活躍し、世界に向かってリーダーシップが取れるような能力を養います。

詳しくは、市川高校ホームページをご覧ください。

(4) 文理科

理科・数学あるいは英語・地理歴史・公民に強い興味・関心を持ち、その能力を伸ばしたいと希望する生徒を対象に、基礎学力を養成し、文系又は理系の分野について探究します。さらに、科学的思考力や情報化・国際化に対応する能力も養成し、将来さまざまな分野で活躍できる人材を育成することを目的とした専門教育学科です。

○ 文理科を置く学校

県立	蕨高等学校
----	-------



ポスターを使ったプレゼンテーション

○ 教育内容

- ・これからの社会で、文系・理系を問わず必要とされる科学的・分析的思考力や素養を養成します。具体的には、グループ課題研究を軸にした探究活動やディスカッションを通し、論理的思考力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を養成します。
- ・1年次に自分の適性を見極め、2年次から文系・理系に分かれます。理系では、基礎知識とその活用を深く学び、実験・実習を通して科学的分析力・応用力を育てる科目を選択履修できます。文系では、英語や地理歴史・公民をより深く学び、幅広い教養と論理的思考力を養成し、国際社会に貢献できる能力を育てるための学習をします。

○ 進路状況

理学部・工学部・医学部等の理系の大学及び文学部・法学部・経済学部等の文系の大学へ進学し、活躍しています。

(5) 探究科

人文・社会科学から自然科学の分野まで幅広く各自が設定した課題の解決を目指して、情報を収集、整理・分析しながらまとめる探究活動を通じて、論理的思考力や国際的視野の育成を目指します。

○探究科を置く学校

県立	甲府第一高等学校
----	----------

○教育内容

探究科では、週に2時間「グローバル探究」の授業で、「なぜ？」という素朴な疑問について、グループで様々な角度から探究することで各教科の学習内容を強化し、これからの社会に必要とされる基礎力、思考力、実践力を育みます。また、常に世界に目を向けながら、これからの山梨、日本そして世界をつくる、社会に貢献できる人材の育成を目指します。本年度より文部科学省の『地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）』に指定され、大学や企業など地域社会と連携しながら充実した活動に取り組んでいきます。



研修旅行での交流風景（セブ島）

○進路状況

探究科の生徒は、探究活動を通して教科の学習にも自ら積極的に取り組むようになります。文系も理系も国公立大学や難関私立大学への進学を目指しており、卒業生の多くは、その目標を実現しています。

(6) 美術デザイン科

美術デザイン科では、美術系大学や短大だけでなく、専門学科で学んだ技能を生かすことのできる、さまざまな進路に対応できるカリキュラムを編成しています。週当たりの美術の授業は8～10時間あり、基礎的な技能の習得はもちろん、Macを活用しデジタルアートや3Dプリンターを使った作品の制作にも挑戦します。

○美術デザイン科を置く学校

私立	駿台甲府高等学校
----	----------

○教育内容

- 1年…さまざまな材料体験を通し、基本的な技術、考え方を学び、表現力の幅を広げます。
- 2年…基礎的な技能をもとに、想像力を養い、広げます。適性に応じて絵画系・デザイン系の選択課題を学習します。
- 3年…進路に応じたコース編成となります。油絵、日本画、グラフィックデザイン、工業デザイン、デジタルアート等、志望分野に応じ、きめ細かな個別指導を行います。

(7) 音楽科

音大・教育大学進学コース／保育幼児教育コース／ポピュラー作曲コース／音楽総合コースに分かれそれぞれ将来の目的に合わせた細やかなカリキュラムを実施しています。音楽実技は個人レッスン、専門科目は少人数での習熟度別授業を実施し、個々に合わせた実力を高めることができます。

○音楽科を置く学校

私立	甲斐清和高等学校
----	----------

○教育内容

- 1年…一般教科と音楽専門教科共に基礎力を高め、音楽的技術と感性を磨きます。
- 2年…様々な学習・演奏活動を通して高い技術と知識、豊かな表現力を身につけます。
- 3年…将来の職業を見据えた進路選択と確実な受験指導を行います。

4 総合学科

○ 特徴

総合学科とは、生徒自らの適性或進路などに応じた主体的な学習計画に基づいて、幅広く開設された普通科目と専門科目の中から選択して学習できる学科です。

本県には、総合学科を置く高校として北杜高校、甲府城西高校、笛吹高校、身延高校、上野原高校、富士北稜高校があります。そのうち、上野原高校と身延高校は普通科目を基軸にした総合学科※です。

総合学科では、すべての生徒が学習する必修科目のほかに、総合学科特有の原則履修科目である「産業社会と人間」を全員が学びます。また選択科目は、専門科目を多く学習できることで普通科と異なり、専門科目を25単位以上学習する義務がないことで専門学科と異なります。また、生徒の進路に合わせた主体的な学習を支援するため、学習の方向性或系統性を考えて、内容的につながりのある科目を配置した自然科学、人文科学、情報、福祉などの「系列」や「科目群」を選択の目安として示します。

1科目ごとに単位を修得し、在学中に決められた単位を修得すれば卒業が認められ、自分の学びたい科目を自分なりの学習計画で学べるしくみ(単位制)を採用しています。

高校生活を通じて、社会の変化に柔軟に対応できる思考力、判断力、創造力を身に付け、それぞれの目標の実現を図ることを目指しています。

※普通科目を基軸にした総合学科：普通科の科目を中心に学ぶことができる多様な科目群を配置する総合学科

○ 総合学科を置く高校

県立	北杜高等学校 甲府城西高等学校 身延高等学校 笛吹高等学校 上野原高等学校 富士北稜高等学校
----	---

○ 各校の系列・科目群

北杜高等学校

生物資源系列
環境工学系列
総合情報ビジネス系列
福祉ライフデザイン系列

甲府城西高等学校

自然科学系列
人文社会系列
メカトロニクス系列
エレクトロニクス系列
ビジネス会計系列
情報管理系列
福祉生活科学系列
スポーツ健康系列

身延高等学校

理数科学科目群
人文社会科目群
福祉健康科目群
文化情報科目群

笛吹高等学校

環境緑地系列
情報・観光系列
国際文化系列
人間科学系列 (スポーツ科学コース) (生活福祉コース)

上野原高等学校

人文語学科目群
社会国際科目群
理工科目群
福祉健康科目群
芸術服飾科目群
情報メディア科目群

富士北稜高等学校

教養系列
福祉健康系列
総合ビジネス系列
機械テクノロジー系列
電気情報系列
建築デザイン系列

5 定時制・通信制課程

(1) 定時制

もともとは、働きながら勉強をしたい人のための高等学校でしたが、時代とともに移り変わり、現在では、勉強しながら他の目的に向かって歩んでいる人や中高年の人なども学ぶ場となっています。多様な生徒たちが心豊かに相互に影響を与えながら学習しています。

さらに、卒業まで原則4年必要ですが、昼夜併修や定通併修などによって、必要な単位を修得すれば3年で卒業することも可能です。卒業資格は、全日制高校と変わりません。また、すべての定時制課程が単位制をとっています。



授業風景

○ 定時制課程を置く学校

県立	普通科	葦崎（注1）、巨摩、山梨、都留中央（注2）、ひばりが丘（注3）
	情報経理科	中央（注2）、ひばりが丘（注3）
	機械科・電気科・建築科	甲府工業（注4）

（注1）昼間定時制で、午前部と午後部があります。

（注2）普通科は午前部、午後部、夜間部があります。情報経理科は午後部と夜間部があります。

（注3）普通科は昼間部と夜間部、情報経理科は昼間部のみとなります。

（注4）入学者選抜検査は工業科として一括で募集し、1年次後期から各学科に分かれて専門科目を学びます。

○ 教育内容

- ・全日制と同じ内容を、原則4年で学習します。生徒の興味や生活の実態に即して、各教科の基礎的な内容を重点的に、勤労と学習を両立させながら、学んだことが無理なく身につくよう指導します。
- ・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動や放課後の部活動も盛んで、定通制の県総合体育大会、生活体験発表大会、文化作品展示、県芸術文化祭定通部門、全国大会等が行われ、学校生活を一層豊かで思い出深いものにしています。

○ 進路状況

在学中の職業をそのまま続けるなど就職する人が多いですが、大学、短大、各種専修学校へ進学する人もいます。

○ 特典（条件有り）

- ・夜間定時制では給食または補食が実施され、費用については、県の補助もあります。
- ・教科書の無償配付、修学奨励金等の制度があります。

(2) 通信制

家庭、職場の関係や身体の都合などで、毎日通学して授業を受けることのできない人のための高等学校です。

（毎日登校して学習することを目的とする登校型を設置する学校もあります。）

普通科、衛生看護科、航空科があります。

普通科と航空科は、中学校を卒業した人（見込みを含む）で熱意があれば受検し入学できます。

衛生看護科は、甲府看護専門学校准看護学科への入学許可予定者若しくは在籍者若しくは卒業者であることが必要です。

3年以上在学して必要な単位を修得すると、高等学校卒業の資格が得られます。

○ 通信制課程を置く学校

県立	普通科	中央高等学校	
	衛生看護科		
私立	普通科	駿台甲府高等学校	日本航空高等学校
		自然学園高等学校	甲斐清和高等学校
	航空科	日本航空高等学校	



授業風景

- 教育内容（中央高等学校の例）
 - ・職場や家庭で、自分の能力や時間に合わせ、学校の定めた進度に従って学びます。
 - ・学習の成果は、レポートにまとめて学校に送り、添削指導を受けるとともに、ほぼ月 2～3 回の面接授業（スクーリング）に出席して指導を受けます。
 - ・ひばりが丘高等学校の教室を利用した面接授業（分室スクーリング）があります。（令和 2 年度 4 回実施予定）
 - ・前期、中期、後期試験が設定され、レポートの進捗状況によりテストを受け、評価が行われます。
 - ・面接授業日のホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動もあり、遠足、定通制の県総合体育大会、生活体験発表大会、文化作品展示、県芸術文化祭定通部門、学園祭など学校生活を楽しく彩る行事や活動もあります。

- 進路状況
 - ・就職をする人、在学中の職業を続ける人、大学、短大、各種専修学校へ進学する人など様々です。

- 特典（各規程・条件有り）
 - ・教科書・学習書が無償給付される制度があります。
 - ・(財)山梨みどり奨学会奨学金等の貸与制度があります。
 - ・レポート提出の郵便料金は割引となります。
 - ・スクーリングのために登下校する際の「JR回数券」は、5 割引となります。
 - ・高等学校卒業程度認定試験等の合格科目を、一定の条件により単位認定します。

（参考）専修・各種学校

職業や日常生活に必要な専門的知識や技術を身につけ、自分の興味・関心に基づいた学習を進め、教養の向上をはかり、人生を豊かなものにしたいと希望する人に適しています。

中学校卒業者が入学できるのは、次のとおりです。

① 高等課程を設置する専修学校

県内では次の学校です。

分野	学校名	郵便番号	住所	電話番号
医療	甲府看護専門学校（准看護学科）	400-0026	甲府市塩部 3-1-4	055-254-3300

② 各種学校

県内には、文化・教養、商業実務、服飾、料理等の分野の学校があります。詳しく知りたい方は、下記に照会するか、各校にお問い合わせください。

「一般社団法人 山梨県専修学校各種学校協会」事務局

〒400-0867 甲府市青沼 3-10-1 甲斐清和高等学校内 TEL 055-235-8861 FAX 055-233-0129
 または甲斐清和高等学校 TEL 055-233-0129

○ 准看護師養成課程等を置く学校

私立	甲府看護専門学校（准看護学科）
----	-----------------

○ 特色・特典

- ・ 中学校卒業以上の学歴で2年間の学修をし、准看護師試験の受験資格が得られます。
- ・ 中学校卒業者は県立中央高校の衛生看護科生として、本校で修得した単位が認められます。

【教育目的】

看護を実践するために必要な、専門知識・専門技術を修得し、豊かな人間性を養い、地域の人々の健康と福祉に貢献できる准看護師を育成する。

【教育目標】

1. 人間を総合的に理解し、自己他者ともに人間として尊重できる能力を養う。
2. 専門職業人としての姿勢と倫理観を養う。
3. 専門知識・専門技術を統合し、地域の人々へ看護を実践する能力を養う。
4. 援助過程を用いた問題解決能力を養う。
5. 保健・医療・福祉チームの中で、協働・調整する能力を養う。
6. 専門職業人として、学習力を備え、自己研鑽できる能力を養う。

【授業形態】

月曜日～金曜日（週5日）

講義 13時00分～16時50分

（但し、金曜日の講義は9時～16時50分）

臨地実習 8時30分～16時30分

【休業日】

土曜日、日曜日、国民の祝日

季節（春・夏・冬）休業日、創立記念日（10月26日）

【取得できる資格及び特典】

1. 准看護師試験の受験資格
甲府看護専門学校准看護学科を卒業後、准看護師試験を受験し、合格した者は准看護師の資格を取得できます。
2. 看護師学校（2年課程）の受験資格
 - (1) 県立中央高等学校（通信制衛生看護科）との技能連携制度により、高等学校卒業資格を得られ、看護師学校（2年課程）の受験資格を取得できます
 - (2) 中学卒業者は、准看護師の資格取得後、病院等で准看護師として3年以上業務に従事することで看護師学校（2年課程）の受験資格を取得できます

【高等学校等就学支援金】

高等学校等就学支援金の対象校となっています。

【修学・奨学金貸与制度】

1. 山梨県看護職員修学資金制度
2. （財）山梨みどり奨学会 奨学金制度

教育課程

教育内容		時間
基礎科目	国語	35
	外国語（英語）	35
	音楽	15
	体育	20
	小計	105
専門基礎科目	人体のしくみと働き	105
	食生活と栄養	35
	薬物と看護	35
	疾病の成り立ち	70
	感染と予防	35
	看護と倫理	35
	患者の心理	35
	保健医療福祉のしくみ 看護と法律	35
小計	385	
専門科目	基礎看護	315
	成人・老年看護	210
	母子看護	70
	精神看護	70
	小計	665
	基礎看護実習	210
	成人・老年看護実習	385
	母子看護実習	70
	精神看護実習	70
	小計	735
総合計	1890	

IV 県立高等学校の入学者選抜制度

■入学者選抜（全日制）の主な特徴

1. 全県一学区です。
2. 「前期募集」と「後期募集」の2度の受検機会があります。
3. 「前期募集」では、自分の興味・関心、特性を生かした受検ができます。また「後期募集」では、志願先高等学校に普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上が設置されている場合、次に示す学科間で第2希望まで志望順位を付けることができます。
 - ・普通科と専門教育学科
 - ・北杜高等学校及び笛吹高等学校の普通科と総合学科
 - ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
 - ・青洲高等学校の各学科

■各募集の概要

前期募集

[全ての全日制高校で実施します]

- ◇自己推薦制です。
- ◇面接のほか、特色適性検査、特技、個性表現を組み合わせて、多様な選抜を実施します。

※令和3年3月卒業見込みの生徒が対象です。
※1人1校1学科に限り出願することができます。
※各高等学校が定める「選抜資料比重」に基づき、調査書、学習活動及び生活状況に関する所見、面接及び各高等学校長が定める検査の成績を総合判定し、選抜します。

後期募集

[全ての全日制・定時制高校で実施します]

- ◇前期募集の入学内定者は、後期募集に出願することはありません。
- ◇学力検査を実施します。

※前期募集で出願した高校へ、再度、出願することができます。
※前期募集に出願せず、後期募集から出願することができます。
※全日制課程の検査では、学力検査（5教科）の成績と調査書の記録を同等に扱い、総合判定します。
※定時制課程の検査では、学力検査（5教科）の成績、

調査書の記録及び面接の結果を総合判定します。

再募集

[募集定員に満たない全日制・定時制高校で実施します]

◇学力検査等の結果に基づき総合判定します。

※全日制課程の検査では、後期募集の学力検査の成績及び調査書の記録と併せて、再募集に当たって実施する面接に加え、作文または新たに行う学力検査の成績を総合判定します。

※定時制課程での検査では、再募集に当たっての学力検査（3教科）の成績、調査書の記録及び面接の結果を総合判定します。

* 令和3年度入学者選抜の詳細については、別に定める「入学者選抜実施要項」によります。（令和2年10月下旬公表予定）

* 青洲高等学校の開設に伴い、令和2年度入学者選抜より、増穂商業高等学校、市川高等学校、峡南高等学校の各高等学校での募集を停止します。

令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について

令和3年度における山梨県立高等学校(増穂商業高等学校、市川高等学校、峡南高等学校を除く。)及び甲府市立甲府商業高等学校(以下、「高等学校」という。)の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の入学者選抜の基本事項について、次のとおり定める。

なお、北杜市立甲陵高等学校の入学者選抜については、別途北杜市教育委員会が定める。

第1 全日制の課程における前期募集

- 1 実施校
すべての高等学校、学科において前期募集を実施する。
- 2 募集人員
前期募集の募集人員は、募集定員のうち、次の(1)から(4)のそれぞれの範囲の中から各高等学校長が決定した比率をもとに、教育委員会が別に定める。
 - (1) 普通科については、募集定員の40%以内
 - (2) 理数科、文理科、英語理数科、探究科(以下「専門教育学科」という。)については、募集定員の40%以内
 - (3) 職業に関する学科については、募集定員の50%以内
 - (4) 総合学科については、募集定員の50%以内
- 3 出願資格
前期募集に出願できる者は、次の条件をいずれも満たす者とする。
 - (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を令和3年3月に卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を同月に修了する見込みの者
 - (2) 当該高等学校を志望する動機や理由が明白・適切であり、各高等学校長が定める「出願の条件」に適合すると自ら考える者
- 4 出願の制限
出願は、1人1校、1学科に限る。
- 5 出願期間
令和3年1月15日(金)(一括受付)、1月18日(月)の午前9時から午後4時まで及び1月19日(火)の午前9時から正午まで
- 6 検査
 - (1) 検査方法
面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、特色適性検査、特技、個性表現のいずれか(複数可)を併せて実施する。
 - (2) 検査期日
令和3年1月28日(木)、1月29日(金)
- 7 選抜方法
各高等学校長が定める「選抜資料比重」に基づき、調査書、学習活動及び生活状況に関する所見、面接及び各高等学校長が定める検査の成績を総合判定し、選抜する。
- 8 入学許可予定者の内定
各高等学校長は、令和3年2月5日(金)に中学校長に校長あての前期募集選抜結果内定通知書を交付するとともに、受検者あての前期募集選抜結果通知書を交付する。(中学校長が郵便等による交付を希望する場合には、事前に依頼することとする。)
- 9 入学許可予定者の発表
全日制の課程における後期募集の入学許可予定者と併せて行う。
- 10 全国からの募集
職業に関する学科、総合学科のうち北杜高等学校、韮崎工業高等学校、甲府工業高等学校、農林高等学校、甲府商業高等学校では、全国募集を実施する。入試の内容や詳細については各実施校の募集要項に定める。

第2 全日制の課程における後期募集

- 1 募集人員
後期募集の募集人員は、募集定員から前期募集の入学許可予定者として内定された者の数を減じた数をもとに、教育委員会が別に定める。
- 2 出願資格
後期募集に出願できる者は、次の条件のいずれかを満たす者とする。
 - (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業する見込みの者
 - (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和3年3月に修了する見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和3年3月に修了する見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該

課程を修了した者又は令和3年3月に修了する見込みの者

- (5) 中学校を卒業した者と同等以上の学力を有する者として文部科学大臣の指定した者
 - (6) 保護者が就学させる義務を猶予又は免除された子等で、文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - (7) その他高等学校において、中学校を卒業し、又は修了した者と同等以上の学力があると認められた者
- 3 出願の制限
- (1) 出願は、1人1校とする。
 - (2) 前期募集の入学許可予定者として内定された者は、後期募集に出願することはできない。
 - (3) 定時制及び通信制の課程と併願することはできない。また、特別支援学校高等部と併願することもできない。
 - (4) 志願先高等学校に普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上が設置されている場合、次に示す学科間で第2希望まで志望順位を付けることができる。
 - ・普通科と専門教育学科
 - ・北杜高等学校及び笛吹高等学校の普通科と総合学科
 - ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
 - ・青洲高等学校の各学科
 - (5) 志願先高等学校に職業に関する2つ以上の小学科があり、小学科別に募集を実施している場合、職業に関する学科を志願する者は、その小学科に第2希望まで志望順位を付けることができる。
- 4 出願期間
- 令和3年2月16日（火）（一括受付）、2月17日（水）の午前9時から午後4時まで及び2月18日（木）の午前9時から正午まで
- 5 学力検査
- (1) 検査教科及び配点
 - ア 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語（リスニング検査を含む。）の5教科とする。
 - イ 配点は、各検査教科100点とする。ただし、専門教育学科及び普通科のコースの指定については、検査教科の配点を変えて行うことがある。
 - (2) 検査期日
令和3年3月3日（水）
 - (3) 検査時間
国語は55分とし、社会、数学、理科及び英語は各45分とする。
- 6 追検査
- (1) 対象者
インフルエンザ等の感染症等不慮のやむを得ない事情により、学力検査を欠席した者。
 - (2) 検査方法
学力検査を実施する。検査教科、配点、検査時間は、後期募集の学力検査に準ずる。
 - (3) 検査期日
令和3年3月8日（月）
- 7 選抜方法
- (1) 調査書の記録及び学力検査又は追検査の成績を総合判定し、選抜する。
 - (2) 判定に当たっては、調査書の記録と学力検査又は追検査の成績を同等に扱う。
- 8 入学許可予定者の発表
令和3年3月12日（金）

第3 全日制の課程における再募集

- 1 実施校及び募集人員
入学者選抜の結果、高等学校において、入学許可予定者が学科の募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。募集人員は教育委員会が別に定める。
- 2 出願資格
再募集に出願できる者は、全日制課程における後期募集又は定時制の課程における入学者選抜の学力検査受検者（病気等やむを得ない理由により学力検査を受検することができなかったと志願先高等学校長が認める者を含む。）で、出願時に、県内の公・私立のいずれの高等学校にも合格していない者とする。
- 3 出願の制限
 - (1) 出願は、1人1校とする。
 - (2) 定時制及び通信制の課程と併願することはできない。また、特別支援学校高等部の再募集と併願することもできない。
 - (3) 志願先高等学校に普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上があり、2学科以上で募集を実施している場合、次に示す学科間で第2希望まで志望順位を付けることができる。
 - ・普通科と専門教育学科

- ・北杜高等学校及び笛吹高等学校の普通科と総合学科
 - ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
 - ・青洲高等学校の各学科
- (4) 志願先高等学校に職業に関する2つ以上の小学科があり、小学科別に2つ以上で募集を実施している場合、職業に関する学科を志願する者は、その小学科に第2希望まで志望順位を付けることができる。
- 4 出願期間
令和3年3月12日（金）の午後1時から午後4時まで、3月15日（月）の午前9時から午後4時まで及び3月16日（火）の午前9時から正午まで
- 5 検査
- (1) 検査方法
面接のほか、作文又は新たに行う学力検査を実施する。
- (2) 検査期日
令和3年3月17日（水）
- 6 選抜方法
学力検査の成績及び調査書の記録と併せて、再募集に当たって実施する面接の結果並びに作文又は新たに行う学力検査の成績を総合判定し、選抜する。
- 7 入学許可予定者の発表
令和3年3月19日（金）

第4 定時制の課程における入学者選抜

- 1 募集人員
募集人員は教育委員会が別に定める。
- 2 出願資格
全日制の課程における後期募集に準ずる。
- 3 出願の制限
- (1) 出願は、1人1校とする。
- (2) 全日制の課程における前期募集の入学許可予定者として内定された者は、出願することはできない。
- (3) 全日制及び通信制の課程と併願することはできない。また、特別支援学校高等部と併願することもできない。
- (4) 中央高等学校を志願する者は、学科・部にとらわれず、第2希望まで志望順位を付けることができる。
- 4 出願期間
令和3年2月16日（火）（一括受付）、2月17日（水）の午前9時から午後4時まで及び2月18日（木）の午前9時から正午まで
- 5 検査
- (1) 検査方法
学力検査及び面接を実施する。
- (2) 学力検査の検査教科及び配点
ア 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語(リスニング検査を含む。)の5教科とする。
イ 配点は、各検査教科100点とする。
- (3) 検査期日
令和3年3月3日（水）、3月4日（木）
- (4) 検査時間
国語は55分とし、社会、数学、理科及び英語は各45分とする。
- 6 追検査
- (1) 対象者
インフルエンザ等の感染症等不慮のやむを得ない事情により、学力検査又は面接、あるいはその両方を欠席した者。
- (2) 検査方法
学力検査・面接を実施する。学力検査の検査教科、配点、検査時間は、定時制募集の学力検査に準ずる。
- (3) 検査期日
令和3年3月8日（月）
- 7 選抜方法
調査書の記録、学力検査又は追検査の成績及び面接の結果を総合判定し、選抜する。
- 8 入学許可予定者の発表
令和3年3月12日（金）

第5 定時制の課程における再募集

- 1 実施校及び募集人員

定時制の課程を設置する高等学校で、入学者選抜の結果、入学許可予定者が学科の募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。募集人員は教育委員会が別に定める。

- 2 出願資格
全日制の課程における後期募集に準ずる。
- 3 出願の制限
 - (1) 出願は、1人1校とする。
 - (2) 全日制及び定時制の課程並びに特別支援学校高等部における入学許可予定者は、出願することはできない。なお、全日制の課程及び特別支援学校高等部における再募集に出願した者は、その入学許可予定者の発表があるまで出願することはできない。
 - (3) 通信制の課程と併願することはできない。
 - (4) 中央高等学校が2つ以上の学科・部で募集を実施している場合、志願する者は、学科・部にとらわれず、第2希望まで志望順位を付けることができる。
- 4 出願期間
令和3年3月17日（水）、3月18日（木）、3月19日（金）の午前9時から午後4時まで及び3月22日（月）の午前9時から正午まで
- 5 検査
 - (1) 検査方法
再募集に当たっての学力検査及び面接を実施する。
 - (2) 学力検査の検査教科
検査教科は、国語、数学及び英語の3教科とする。
 - (3) 検査期日
令和3年3月23日（火）
- 6 選抜方法
調査書の記録、再募集に当たっての学力検査の成績及び面接の結果を総合判定し、選抜する。
- 7 入学許可予定者の発表
令和3年3月25日（木）

第6 通信制の課程における入学者選抜

- 1 実施校
中央高等学校の普通科及び衛生看護科
- 2 募集人員
募集人員は教育委員会が別に定める。
- 3 出願資格
全日制の課程における後期募集に準ずるほか、山梨県内に住所を有する者であること。衛生看護科については、さらに甲府看護専門学校准看護学科の在学者、卒業生又は入学許可予定者に限る。
- 4 出願の制限
 - (1) 全日制及び定時制の課程並びに特別支援学校高等部と併願することはできない。
 - (2) 全日制及び定時制の課程並びに特別支援学校高等部における入学許可予定者は、出願することができない。
- 5 出願期間
第1期：令和3年3月11日（木）、3月15日（月）、3月16日（火）の午前9時から午後4時まで
第2期：令和3年3月22日（月）、3月24日（水）、3月26日（金）の午前9時から午後4時まで
- 6 検査
 - (1) 検査方法
面接、作文及び筆記検査を実施する。
 - (2) 検査期日
・面接は出願時に行う。
・次の第1期、第2期検査期日に、作文及び筆記検査を行う。
第1期出願期間の出願者を対象とする第1期検査：令和3年3月17日（水）
第2期出願期間の出願者を対象とする第2期検査：令和3年3月29日（月）
- 7 選抜方法
調査書の記録、面接、作文及び筆記検査の成績を総合判定し、選抜する。
- 8 入学許可予定者の発表
第1期検査受検者については令和3年3月19日（金）付けで、第2期検査受検者については令和3年4月5日（月）付けで通知する。

第7 実施要項

詳細については、教育委員会が別に定める「令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。

令和3年度公立高等学校入学者選抜日程

令和3年 1月		令和3年 2月		令和3年 3月		通信制		
1	金	1	月	1	月 (公立高校卒業式)			
2	土	2	火	2	火			
3	日	3	水	3	水 全日制後期募集検査・定時制検査			
4	月	4	木	4	木 定時制検査			
5	火	5	金	5	金 前期募集内定			
6	水	6	土	6	土			
7	木	7	日	7	日			
8	金	8	月	8	月 追検査			
9	土	9	火	9	火			
10	日	10	水	10	水			
11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	1期出願期間
12	火		12	金	入学許可予定者発表	出願期間 再募集 全日制		
13	水		13	土				
14	木		14	日				
15	金	前期募集 出願期間	15	月			1期 間出願	
16	土		16	火	制募全 出集日 願・制 期定後 間時期			
17	日		17	水		全日制再募集検査	1期検査	
18	月	出前全 願期日 間募制	18	木		出定 願時 期制 間再 募集		
19	火		19	金	志願変更期間 (予定)		全日制再募集入学 許可予定者発表	1期発表
20	水		20	土			春分の日	
21	木		21	日				
22	金		22	月	志願変更期間 (予定)		2期出願 期間	
23	土		23	火	天皇誕生日	定時制再募集検査		
24	日		24	水	志願変更期間 (予定)		2期出願 期間	
25	月		25	木		定時制再募集 入学許可予定者発表		
26	火		26	金			2期出願 期間	
27	水		27	土				
28	木	前期募集検査	28	日				
29	金		29	月			2期検査	
30	土		30	火				
31	日		31	水				

通信制2期発表: 4月5日(月)

参考資料

○公立高等学校の授業料等

		入学審査料	入学料	授業料
県立	全日制	2,200	5,650	9,900/月
	定時制	950	2,100	1,620/単位
	通信制		500	310/単位
甲府商業高校		2,200	5,650	9,900/月
甲陵高校		3,000	5,650	9,900/月

授業料は、原則有償となっています。ただし、就学支援金の認定を受ければ徴収されません。

なお、修学旅行の積立金や生徒会費などは別途徴収されます。詳しくは、各高校の事務室にお問い合わせ下さい。

○奨学金制度

[公益財団法人 山梨みどり奨学会 奨学金]

保護者の住所が県内にあり、資質に優れながらも経済的理由により、修学が困難な高等学校等の生徒に対し奨学金の貸与を行う。

1. 予約採用

中学校（特別支援学校中等部を含む。）の第3学年に在学し、高等学校等進学後に奨学金の貸与を希望する生徒を対象に募集を行う。

<募集期間>

9月～10月

<申込先>

在学中学校

2. 在学者採用

高等学校等進学後、1の「予約採用」と同趣旨の募集を行う。

<募集期間>

4月～5月

<申込先>

在学高等学校 等

3. 貸与月額

<国公立高校等に通う生徒>

自宅通学者 18,000円

自宅外通学者 23,000円

<私立高校等に通う生徒>

自宅通学者 30,000円

自宅外通学者 35,000円

4. 提出書類

申込書・確認書・証明書 等

5. 返還方法

貸与終了後6ヶ月据置、月賦により9～12年で返還

<問い合わせ先>

公益財団法人 山梨みどり奨学会
山梨県教育委員会高校教育課内
電話 055-223-1852

[高校生等奨学給付金]

授業料以外の教育費負担の軽減を目的として、年に1度、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給する制度です。返還の必要はありません。

1. 対象となる世帯

令和2年7月1日現在、次のア)、イ)、ウ) 全てに該当する世帯

ア) 保護者等が山梨県内に住所を有すること。

イ) 高校生等が「高等学校等就学支援金」の支給対象校に在学していること。

ウ) 生活保護法による「生業扶助」が行われていること、または支給年度の保護者等全員の市町村民税所得割が非課税であること。

2. 生徒一人当たりの給付額（年額）

ア) 生活保護受給世帯

公立 32,300円

私立 52,600円

イ) 高校生等以外に15歳以上23歳未満の子の扶養されている兄弟姉妹がいない場合

公立 84,000円（通信制の場合は36,500円）

私立 103,500円（通信制の場合は38,100円）

ウ) 保護者が高校生等以外に15歳以上23歳未満の兄弟姉妹を扶養している世帯で第2子以降の場合

公立 129,700円（通信制の場合は36,500円）

私立 138,000円（通信制の場合は38,100円）

申請方法、支給方法等の制度の詳細な内容につきましては、各高等学校等の事務室または下記連絡先にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

・各高等学校等の事務室

・公立高等学校：山梨県教育委員会高校教育課
電話 055-223-1769

・私立高等学校：山梨県県民生活部私学・科学振興課
電話 055-223-1322

[定時制通信制修学奨励金]

県内の定時制又は通信制高校に在学し、経済的理由により修学が困難な生徒に修学奨励金の貸付を行う。

<貸与月額>

14,000 円

<提出書類>

修学奨励金貸付願、収入に関する証明書等

<申込先>

各高等学校

<貸与期間>

48 か月以内

<返還免除>

定時制・通信制の課程を卒業した場合は、返還が免除されます。

<問い合わせ先>

山梨県教育委員会高校教育課
電話 055-223-1769

[母子父子寡婦福祉資金]

ひとり親家庭等の生徒が就学するために必要な経費を貸し付けます（父母のいない生徒も対象になります）。

[就学支度資金]（無利子）

<貸付限度額>

- ・公立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 150,000 円
 - 自宅外通学者 160,000 円
- ・私立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 410,000 円
 - 自宅外通学者 420,000 円

<返還方法>

卒業後 6 ヶ月据置で 5 年以内に返還

<申込期間>

入学金等必要経費の支払前まで

[修学資金]（無利子）

<貸付限度額>

- ・公立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 27,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 34,500 円（月額）
- ・私立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 45,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 52,500 円（月額）

<返還方法>

卒業後 6 ヶ月据置で 10 年以内に返還（専修学校一般課程は、5 年以内に償還）

<申込期間>

随時

<申込先・問い合わせ先>

お住まいの地域の県保健福祉事務所 福祉課

中北:0551-23-3443 峡東:0553-20-2750

峡南:0556-22-8145 富士・東部:0555-24-9047

※甲府市にお住まいの方は、甲府市子ども未来部子ども未来総室子ども支援課子育て支援係(055-237-5674)へご相談下さい。

※申請～貸付までに 2 ヶ月ほどかかりますので、お早めにご相談ください。

[生活福祉資金]

低所得世帯に属する者が高等学校等に就学するのに必要な経費、また、入学に必要な経費を貸与。

<教育支援費>（無利子）

高等学校（専修学校高等課程を含む。）

月額 35,000 円以内

<就学支度費>（無利子）

500,000 円以内

<申込期間>

随時

<申込先>

市町村社会福祉協議会

<返還方法>

卒業後 6 か月据置で 20 年以内に返還

<問い合わせ先>

山梨県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会

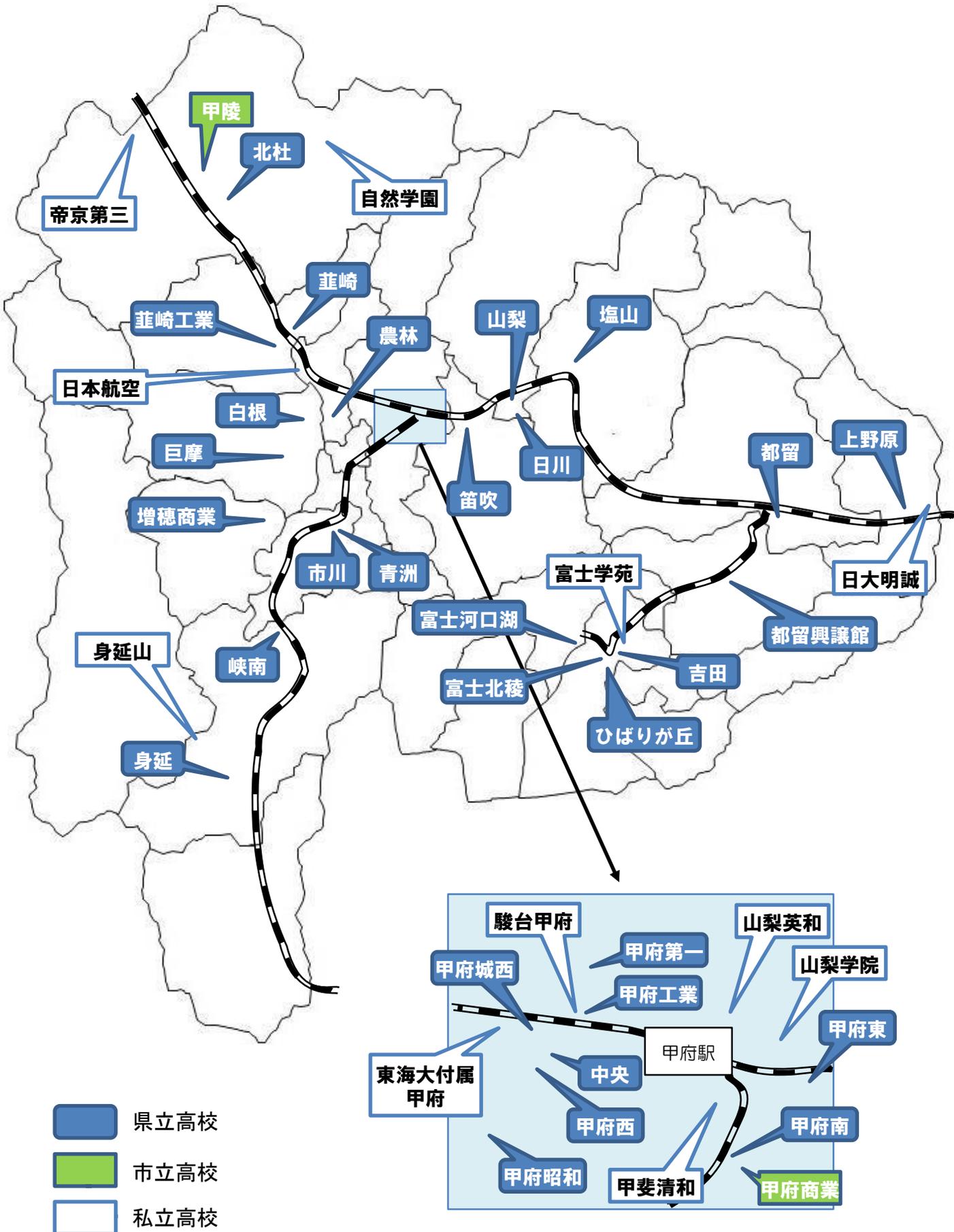
○県立学校のホームページについて

山梨県総合教育センターのホームページに、各県立高校、特別支援学校のホームページへのリンクがあります。メニューの「学校・団体へのリンク」をクリックしてください。

山梨県総合教育センター

<http://www.ypec.ed.jp/>

高等学校配置図(令和2年4月1日現在)



○各高等学校の部活動

令和2年5月末現在

学校名	陸上競技部	水泳部	体操部	新体操部	ウェイトリフティング部	野球部	テニス部	ソフトテニス部	バレーボール部	サッカー部	卓球部	バスケットボール部	ソフトボール部	ラグビー部	ハンドボール部
北杜	○				○	○	○	女	○	○	○	○	女		男
韮崎	○	○		女		○		○	女	○	○	○	女		○
韮崎工業	○					○	○	○	○	○	○	○			○
甲府第一	○	○				○	○	○	○	○	○	○			○
甲府西	○	○	○	体操		○	○	○	○	○	○	※男 女			○
甲府南	○					○	○	○	○	○	○	○			
甲府東	○	○				○	○	○	○	○	○	○			
甲府工業	○			男		○	○	○	○	○	○	○		○	○
甲府城西	○		○			○	○	女	女	○		○	女		男
甲府昭和	○	○				○	○	○	○	○	○	○	女		
農林	○					○	○	○		○	○	男			
巨摩	○					○	○	女	女	○	○	○			
白根	○				○	○	○		○	○		○			
青洲	○					○	○	○	女	○		○			
増穂商業	○					○		○	女		○				
市川						○	○	○		○		○			
峡南	○					合同		男	男	合同		○			
身延	男 女					○		○	女			男	男		
笛吹	○					○	○	○	○	○	○	○	女	○	
日川	○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
山梨	○					○		○	女	○	○	○			○ ※男
塩山					○ ※男	○		○	女	○	○	○	○		男
都留	○	○				○		○	女	○	○	○			○
上野原	○		○			○	女	○	女	○		○			
都留興譲館	○				○	○		○	○	○	○	○		○	
吉田	○				○	○		○	○	○	○	○		○	○
富士北稜	○				○	○	○	○	○	○	○	○	女		
富士河口湖	○					○		○	○	○	○	○	女	○	
中央	○					軟式、男		○	○	男	○	○			
ひばりが丘	○							○			○	○			
甲府商業	○	○				○		○	女	○	○	○	女		女
甲陵	○					○	○		同好	同好	○	男・部 女・同好			○

(注1) 部以外の同好会、愛好会等については、「同好」と表記。

(注2) 各校からの提供資料中、男女別の記載があった部については、「男」又は「女」と表記。

(注3) 強化指定部表示（H29～H31年度参考）は次のとおり。

男女指定

男子指定

女子指定

※ = 特色ある学校づくり指定

学校名	バドミントン部	ホッケー部	ゴルフ部	ライフル射撃部	アーチェリー部	弓道部	空手道部	柔道部	相撲部	剣道部	なぎなた部	フェンシング部	レスリング部	ボクシング部	馬術部
北杜						○				○					○
韭崎	○					○				○					
韭崎工業	○					○				○			○		
甲府第一	○				○	○	○	○		○					
甲府西	○					○	柔道	○		○					
甲府南	○					○				○					
甲府東	○					○				○					
甲府工業	○					○	○	○		○				○	
甲府城西	○			○	○	○							○		
甲府昭和	○					○				○	○			○	
農林						○				○			※男 女		
巨摩	○	女				○									
白根		※男				○									
青洲	○					○	○								
増穂商業	○					○									
市川	○					○	○							○	
峡南							○								
身延								○		○					
笛吹	○			○		○		○		○					
日川	○					○	○	○		○					
山梨	○					○									
塩山	○					○				○					
都留	○						○	○		○					
上野原						○ ※男				○					
都留興譲館						○			○	○			○		
吉田						○		○		○					
富士北稜						○		○		○					
富士河口湖						○		○		○					
中央	○														
ひばりが丘	○														
甲府商業	○					○				○					
甲陵	同好					○						○			

学校名	自転車部	カヌー・ボート部	ヨット部	山岳部	スキー部	スケート部	銃剣道部	水球部	音楽部	軽音楽部	吹奏楽(ブラスバンド)部	箏曲部	合唱部	ギター部	フォークロック部
北杜				○	○	○			○	○	○			○	
韭崎				○							○	○	○	○	
韭崎工業				○	○						○				
甲府第一				○					弦楽		○	○	ア・カベラ部		○
甲府西				○	○				○		○	○	音楽		
甲府南				○					○	○	○	○			
甲府東				○				○	○	○	○				
甲府工業	○			○							○				○
甲府城西				同好						同好	○				
甲府昭和				○							○	○			
農林										同好	○				
巨摩				男					○	同好	○	○			
白根											○				
青洲									○		○		音楽		
増穂商業											委員会	○			
市川									○		○				
峡南											○				
身延		カヌー									○				
笛吹	○										○				フォークソング
日川									○		○				
山梨				登山							○				
塩山											○				
都留				○						○	○	○	○		
上野原											○				
都留興譲館											○	○	○		
吉田		ボート	○	○		○			○		○	○			
富士北稜	○	ボート	○								○				
富士河口湖		ボートカヌー									○				
中央									同好						
ひばりが丘										○					
甲府商業				○							○				
甲陵										同好	○	○	○		

学校名	華道部	茶道部	書道部	珠算部	簿記部	計数(情報 処理研究)部	ワープロ 部	語学(英語) 研究部	社会科学 (研究)部	放送部	新聞部	美術部	陶芸部	イラスト 研究部	文芸(文学) 部
北杜		○	○			ビジネス ライセンス	ビジネス ライセンス	ビジネス ライセンス	EC		○	○			○
韭崎	○	○	○						同好		○	委員会	○	○	同好
韭崎工業		○									委員会				
甲府第一		○	○						○	○	○	○		○	○
甲府西		○	○						ESS	○	○	○		○	○
甲府南	○	○	○						○	○		○			○
甲府東		○	○							○		○		○	○
甲府工業		○							ハンゲ ル語	○		○			
甲府城西		○	○				ワープロ・パソ コン		語学・ 文芸	○		○			語学・ 文芸
甲府昭和	○	○	○						ESS	○		○			○
農林		○	○											同好	同好
巨摩	○	○	同好									○			
白根	○	○	○						ICC	○	委員会	○			
青洲	○	○	○		商業 研究	商業 研究	商業 研究	ESS				○			
増徳商業		○	○		商業 研究	商業 研究	商業 研究			委員会	委員会	○			
市川	○	○	○						ESS			○			
峡南		○	○									○			
身延												○			
笛吹		○	○			情報 科学				○		○			
日川	○	○	○						○	○	文学～	○			～新聞
山梨	○	○	○							○		○			
塩山	○	○	○		資格 取得	資格 取得	資格 取得	○		○		～イラ スト		美術～	
都留		○	○					英語 同好		○	同好	○			○
上野原	○		○									○			
都留興譲館			○					○		○		○			○
吉田	○	○	○					ESS	○	○		○			
富士北稜	○	○	○		商業実務 競技			英語 同好		○		○			
富士河口湖		○						英会話		○		○			○
中央		同好	同好		○		○			同好		同好			同好
ひばりが丘				電卓			○					○			
甲府商業	○	○	○	珠算・ 電卓	○	情報 研究	○	○		○		○		○	
甲陵		○	○									○			○

学校名	写真部	映画部	演劇部	ダンス部	郷土芸能部	囲碁・将棋部	クイズ研究部	自然科学部	天文部	物理部	宝石科学部	電気科学部	機械工作部	農業土木部	アマチュア無線部
北杜	○		○			○									
韭崎	○							環境科学		～化学					
韭崎工業	○				太鼓	○							エコカー		
甲府第一	○		○	○		○		○							
甲府西	○		○	○		○		○							
甲府南	○		○			同好	同好			物理宇宙					
甲府東	○		○	同好			同好	○							
甲府工業	○														○
甲府城西	○		○												
農林	○				○										
農林	○				○										
巨摩	○							○							
白根	○		○					○							
青洲	○												工業研究	工業研究	
増穂商業															
市川	○														
峡南			○												
身延			○												
笛吹	○				すいれき太鼓										
日川	○									～地学					
山梨	○		○			○									
塩山	○														
都留	○					○		○							
上野原			○			○		科学部							
都留興譲館	○		○			○		科学部					工学研究		
吉田	○					○		数理部		数理部					
富士北稜	同好							同好							
富士河口湖	○														
中央	○		○	同好		将棋同好		同好							
ひばりが丘						囲碁									
甲府商業	○		○												
甲陵	○		○			将棋		科学部		科学部					

学校名	パソコン (マイコン) 部	生物部	園芸部	化学部	家庭部	料理研究 部	赤十字 (JRC)部	ユネスコ 部	ボラン ティア部	インター アクト部	その他
北杜					クラブ		委員会				ハンドメイキング部
韭崎		～研究		物理～	委員会				委員会		
韭崎工業	情報 技術			環境 化学	委員会				委員会		ロボット工学、資格取得、文化生活
甲府第一					○						応援団、※来年度、募集を停止する部 があります(7月以降HPで公表します)
甲府西			委員会		委員会				委員会		
甲府南		生命 科学		物質 化学	○		○			委員会	数理情報部、管弦楽部
甲府東						○					インターナショナル部
甲府工業	情報ス テム								○		建築研究部、機械技術部、応援部
甲府城西	ワー プロ・パ ソコン				○					○	
甲府昭和	○				～料理						
農林	○	○	ファーム クラブ						同好		軽音楽同好会、イラスト同好会、文芸 同好会は、今年度より募集しない。
巨摩					委員会			委員会	委員会		
白根					委員会				奉仕部		インターアクトは、奉仕部、家庭クラブ、ボラ ンティア委員会、生徒会が担当
青洲					○			○	委員会		応援団
増穂商業					○				委員会		商業研究は簿記・情報処理・ワープロ を統合
市川								○			
峡南							委員会				応援団・資格取得
身延					クラブ		委員会				
笛吹		植物 研究	園芸 デザイン	食品 化学					○		
日川	数学・情 報	～化学		生物～				社会～			応援団
山梨					委員会	調理 手芸					
塩山					委員会				○		
都留									同好		
上野原							○				服飾デザイン部、百人一首かるた同好 会
都留興譲館					委員会		○				ボウリング同好会
吉田		数理部		数理部	委員会				委員会		(山岳部・華道部休部中)
富士北稜	電子情報 技術				委員会	調理研究 同好					建築研究部
富士河口湖					クラブ				委員会		
中央			同好						同好		ハンドメイド同好会
ひばりが丘											うどん部
甲府商業					○					○	ソングリーダー部、マーケティング 部、HP作成委員会
甲陵	同好	科学部		科学部				○			ディベート部、かるた同好会